

教育委員会定例会事項書

令和4年12月15日(木)
9:30～ 教育委員室

1 開会宣言

議事録署名者 大 森 委 員

2 前回定例会審議結果の確認(別紙参照)

3 請 願

請願の処理について

4 議 題

議案第 54号 公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案

議案第 55号 職員の人事異動(県立学校)について

5 報 告 題

報告 1 令和4年度三重県優秀選手・指導者表彰について

6 閉会宣言



前回定例会の審議結果

1 日時

令和4年11月24日(木)

開会 9時30分

閉会 10時07分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 木平教育長、大森委員、北野委員、栗須委員、富樫委員

議事録署名者 富樫委員

4 採択議案の件名

議案第52号 令和5年度教職員人事異動基本方針について

議案第53号 情報公開請求に係る審査請求に対する裁決について

5 請願陳情の付議の結果

請願9 臨時休校期間等に部活動を停止することを求める請願について

請願10 職員会議中における部活動の不実施を求める請願について

請願11 全日本中学校体育大会の出場資格に部活動ガイドラインの遵守を含めることを求める請願について

請願9、請願10、請願11については不採択とする。

6 諸般の報告

報告1 令和5年度当初予算の要求状況(教育委員会関係)について

7 その他会議において必要と認めた事項

該当なし



請願12

三重県立高等学校における完全下校時間の設定を求める請願について

請願について、別紙のとおり提出する。

令和4年12月15日提出

三重県教育委員会教育長 木平 芳定



請願文書表

教育委員会

受付番号	受付年月日	件名及び要旨	請願者	教育長の意見
請12	令和4年5月16日	<p>(件名) 三重県立高等学校における完全下校時間の設定を求めめる請願書</p> <p>(要旨) 三重県立高等学校において、生徒の完全下校時間を設定すること。</p>	<p>みえ教育ネットワーク教職員ユニオン 委員長 大原 敦子 三重県津市寿町7-50</p>	<p>県立高校においては、放課後、特段の用事がない場合は速やかに下校するよう指導しているところですが、放課後に教員との面談や教育相談、補習、部活動などを実施する場合も、終了次第、速やかに下校するよう指導しているところです。以上のことから、本請願については不採択といたしたい。</p>

2022年5月16日

三重県教育委員会教育長 木平 芳定 様

三重県立高等学校における完全下校時間の設定を求める請願書

請願者 みえ教育ネットワーク教職員ユニオン
委員長 大原 敦子
住 所 三重県津市寿町7-50 (みえ労連内)
電 話 059-223-2615 (みえ労連)

1. 請願の要旨

三重県立高等学校において、生徒の完全下校時間を設定することを求めます。日本国憲法第16条および請願法に基づき、請願いたします。

2. 請願の理由

高校は小中学校とは異なり、かなり広域から生徒たちが通学しています。それに伴い、生徒は小中学生時代よりも通学時間が長くなる傾向にあります。こうした事情を踏まえると、生徒は早い目に下校することが必要ですが、実際には下校時間は遅くなりがちです。

放課後の生徒の下校時間が遅くなる主な要因として、部活動や課外授業等が挙げられます。今でも三重県部活動ガイドラインが守られておらず、長時間の部活動をしている部があります。「自主練習」や「外部団体による活動」ということにして、実際には長時間の部活動が行われている場合もあります。課外授業については、頻度や拘束時間によっては、下校時間が遅くなることに繋がります。下校時間が遅くなることは好ましいことではありません。健康上、夕食をとる時間が遅くなりすぎではいけませんし、家庭学習の時間や自由な時間、睡眠時間等を適切にとれるようにしなければなりません。下校時間が遅いことによって、こうした健康や家庭生活に支障が出てしまうのです。児童の権利条約第24条第3項「締結国は、児童の健康を害するような慣行を廃止するため、効果的かつ適当なすべての措置をとる。」の趣旨に則り、生徒を学校に拘束する時間が長くなりすぎないようにする必要があります。また、暗い夜道で生徒が不審者から被害に遭う危険性を低減させるためにも、早いうちに下校させるようにすることが必要です。生徒からしたら、長時間の部活動や課外授業等に困っていたとしても、黙って耐える選択をしがちです。早く下校できる仕組みとしても、また、三重県部活動ガイドラインを遵守させるための仕組みとしても、高校に完全下校時間を設定することが効果的であると考えます。

一方で、教員にとっては、生徒の在校時間が勤務時間よりも長いことによって、相当な時間の過重労働を余儀なくされています。生徒たちが下校してからようやく校務や授業準備をし、それでも時間が足りなくて持ち帰り仕事をしている教員は多くいます。教員の地位に関する勸告の「Ⅲ 指導原則」では「教員の勤務条件は、効果的な学習を最大限に促進し、かつ、教員がその職務に専念しうるようなものとする。」とされていますが、教員が授業に関することにあまり時間を割くことができない現状はなんとしても改善しなければなりません。このことに関して、勤務時間外の在校等時間は減っているとお考えなのかもしれませんが、それはあくまでも統計上のことであり、教員たちの話からすると、過少申告した在校等時間記録の報告が挙げられていることが多そうな様子です。在校等時間に法的な上限が設定されたにも関わ

らず、業務量が十分に減らないことから、法定上限に達しないように、仕方なく過少申告しているという声が当組合にも寄せられています。「学校の働き方改革」を進めるためには、生徒の在校時間を短くすることが必要です。「完全下校時間」が教員の勤務時間外に設定されることはあまり好ましいことではないと思いますが、「完全下校時間」が設定されていないからこそ、生徒の在校時間が長くなりすぎてしまい、それに合わせて教員も学校に残らざるを得なくなっていると思います。このような運用では学校が持続可能でなくなってしまうと思います。

生徒・教員の双方の利益のために、三重県立高等学校において、生徒の完全下校時間を設定することが必要であると考えます。

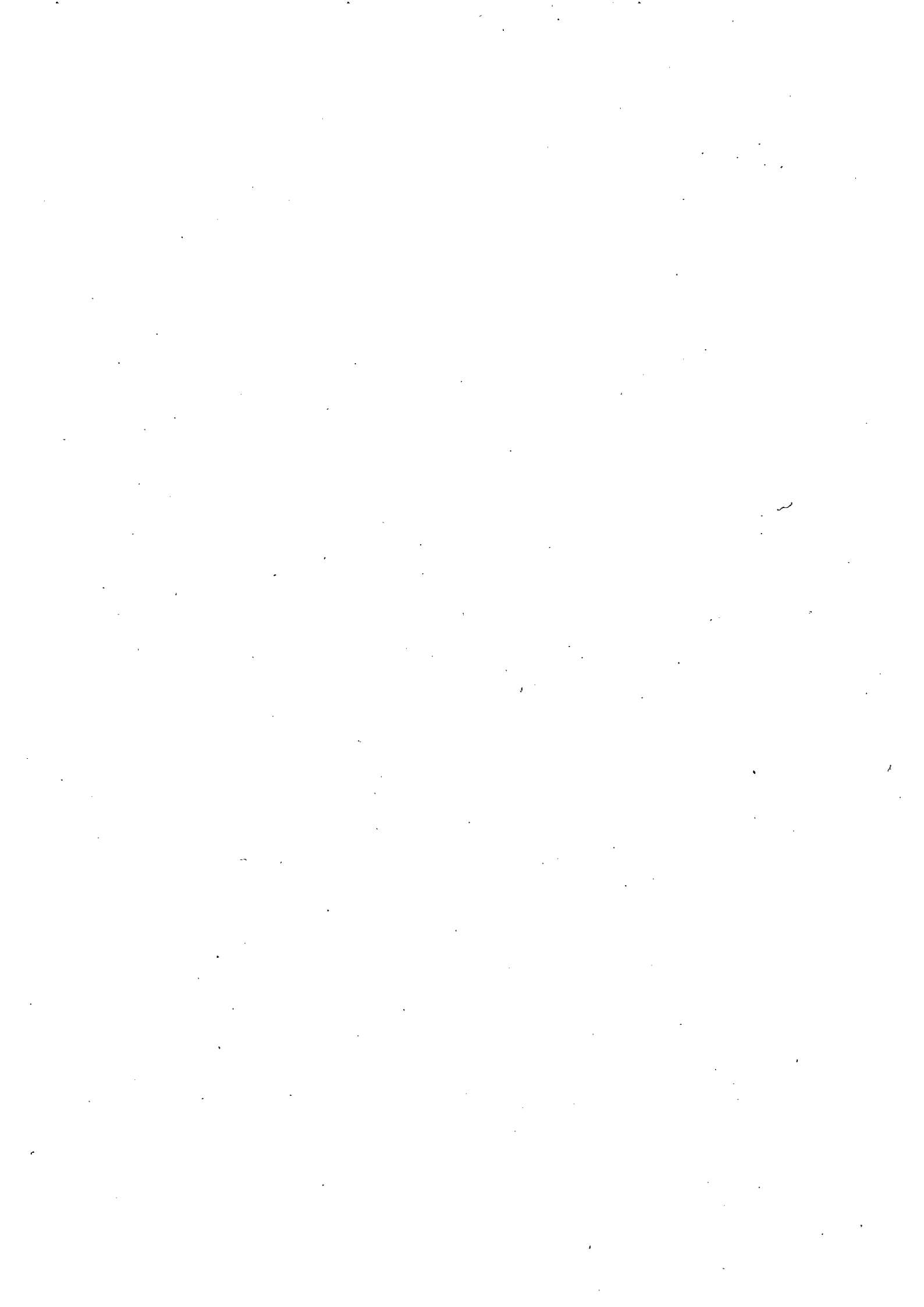
請願13

三重県立高等学校における全選択科目の開講を求める請願について

請願について、別紙のとおり提出する。

令和4年12月15日提出

三重県教育委員会教育長 木平 芳定



請 願 文 書 表

教育委員会

受付番号	受付年月日	件名及び旨	請願者	教育長の意見
請13	令和4年6月20日	<p>(件名) 三重県立高等学校における 全選択科目の開講を求める請 願書</p> <p>(要旨) 三重県立高等学校が選択科 目として設定している授業科目 について、受講希望者がいる全 科目を開講すること。</p>	<p>みえ教育ネットワーク 教職員ユニオン 委員長 大原 敦子</p> <p>三重県津市寿町7-50</p>	<p>県立高校では、生徒が希望した選択科目はできる限り開講するよう努めていますが、希望者が極めて少なく、教科の特性により、学習活動が十分に行えないと判断される場合等は、開講しないこともあります。</p> <p>そのため、科目選択にあたっては、前もって、希望人数によっては開講されない場合があることや、第2希望を含めた科目を検討しておくことを伝えていきます。</p> <p>以上のことから、本請願については不採択といたしたい。</p>

2022年6月20日

三重県教育委員会教育長 木平 芳定 様

三重県立高等学校における全選択科目の開講を求める請願書

請願者 みえ教育ネットワーク教職員ユニオン

委員長 大原 敦子

住 所 三重県津市寿町7-50 (みえ労連内)

電 話 059-223-2615 (みえ労連)

1 請願の要旨

三重県立高等学校が選択科目として設定している授業科目について、受講希望者がいる全科目の開講を求めます。日本国憲法第16条および請願法に基づき、請願いたします。

2 請願の理由

三重県立高等学校で選択科目として開設されている授業科目は生徒が自身の興味・関心や、希望の進路先を踏まえて選択するものです。また、開講予定科目は予め生徒に提示されているにも関わらず、後になって「受講希望者が少ないから開講しない」とすることは不適切であると考えます。

受講希望者が少ないのに開講するのは不経済だという理由で選択科目が開講しない事例はこれまでたびたびありましたが、進路選択に関わるにも関わらず受講を断念せざるを得なくなる生徒がいることを忘れないでいただきたいと思います。

もしこれが部活動であれば、チーム不成立となるほどの部員数となっても、あらゆる手段を駆使して部の存続が図られることでしょう。教育課程内の授業科目は受講希望者がいても「不経済だから」と切り捨て、教育課程にさえ入っていない部活動については尊重するという態度は、学校のあり方として本当に適切なのかと疑問をもたざるを得ません。生徒の学習権の保障のために、また、学校が「学びの場」として正しくあるために、受講希望者がいる全選択科目の開講を求めます。

請願 14

校外模試の受験強制をなくすことを求める請願について

請願について、別紙のとおり提出する。

令和4年12月15日提出

三重県教育委員会教育長 木平 芳定



請願文書表

教育委員会

受付番号	受付年月日	件名及び旨	請願者	教育長の意見
請14	令和4年7月18日	<p>(件名) 校外模試の受験強制をなくすことを求める請願書</p> <p>(要旨) 三重県立高等学校の生徒に対して、予備校等が実施する模擬試験を受験することが強制されないようにすること。</p>	<p>みえ教育ネットワーク職員ユニオン 委員長 大原 敦子 三重県津市寿町7-50</p>	<p>模擬試験を受験する場合には、生徒や保護者に対して模擬試験を受験することの趣旨や必要性を文書や口頭にて説明しています。そのうえで、受験を希望しない生徒は受験しないこととしています。 また、生徒の進路希望によっては、すべての科目を受験するのではなく、一部の科目のみを受験することも認めるなど、柔軟に対応しています。 以上のことから、本請願については不採択といたしたい。</p>

2022年7月18日

三重県教育委員会教育長 木平 芳定 様

校外模試の受験強制をなくすことを求める請願書

請願者 みえ教育ネットワーク教職員ユニオン
委員長 大原 敦子
住 所 三重県津市寿町7-50 (みえ労連内)
電 話 059-223-2615 (みえ労連)

1 請願の要旨

三重県立高等学校の生徒に対して、予備校等が実施する模擬試験を受験することが強制されないようにすることを求めます。日本国憲法第16条および請願法に基づき、請願いたします。

2 請願の理由

三重県立高等学校では生徒に対して予備校等が実施する模擬試験を全員受験としている場合があります。模擬試験は日々の学習の成果を測るための有効な手段であり、その試験結果は高等学校での進路指導にも活用されるものであることは確かだと思います。しかし、そのことを理由に模擬試験の受験強制が行われることは不適切であると考えます。

模擬試験は教育課程に組み込まれたものではなく、生徒には受験する義務が本来あるわけではありません。ましてや模擬試験が実施されるのは主に学校が休業している週休日であり、学校が休業している日にまで生徒に模擬試験を受験させる権限は学校にはないのではないのでしょうか。また、模擬試験の受験をすれば受験者の個人情報情報は模擬試験の実施団体に提供することにもなります。生徒への模擬試験の受験強制は外部団体への個人情報提供の強制に他なりません。個人情報保護の観点からしても、模擬試験の受験強制はあってはならないと考えます。

以上の理由から、三重県立高等学校の生徒に対して、予備校等が実施する模擬試験を受験することが強制されないようにすることを求めます。

議案第54号

公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案

公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案について、別紙のとおり提案する。

令和4年12月15日提出

三重県教育委員会教育長 木平 芳定

提案理由

公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第15条第1項及び三重県教育委員会権限委任規則第1条第10号の規定により教育委員会の議決を要する。

これが、この議案を提出する理由である。



公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案

第一条 公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則（昭和三十九年 三重県人事委員会規則 第二号）の 三重県教育委員会規則 第二号 の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第十三条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、県委員会が定めるものとする。</p> <p>一 再任用職員以外の職員 <u>百分の二百十以内</u></p> <p>二 再任用職員 <u>百分の百以内</u></p>	<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第十三条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、県委員会が定めるものとする。</p> <p>一 再任用職員以外の職員 <u>百分の百九十以内</u></p> <p>二 再任用職員 <u>百分の九十以内</u></p>

第二条 公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第十三条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、県委員会が定めるものとする。</p> <p>一 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 <u>百分の二百十以内</u></p> <p>二 定年前再任用短時間勤務職員 <u>百分の九十五以内</u></p>	<p>(勤勉手当の成績率)</p> <p>第十三条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、県委員会が定めるものとする。</p> <p>一 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 <u>百分の二百十以内</u></p> <p>二 定年前再任用短時間勤務職員 <u>百分の百以内</u></p>

附 則

(施行期日等)

- この規則は、公布の日から施行する。ただし、第二条の規定は、令和五年四月一日から施行する。
- 第一条の規定による改正後の公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則第十三条の規定は、令和四年十二月一日から適用する。

(公立学校職員の定年の引上げ等に伴う関係規則の整備に関する規則の一部改正)

- 公立学校職員の定年の引上げ等に伴う関係規則の整備に関する規則（令和四年 三重県人事委員会規則 第五号）

の一部を次のように改正する。

第六条のうち、公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則第十三条第一号の改正規定中「百分の百九十」を「百分の二百十」に、同条第二号の改正規定中「百分の九十」を「百分の百」に改める。

公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案要綱

1 改正理由

公立学校職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、勤勉手当に係る規定を整備する。

2 改正内容

人事委員会勧告に基づく勤勉手当の支給月数の引上げに伴い、勤勉手当の成績率の上限を次のように改める。

	現 行	① R4.12月期	② R5年度以降
再任用職員以外の職員	190/100 以内	210/100 以内	200/100 以内
再任用職員	90/100 以内	100/100 以内	95/100 以内

※令和5年度から再任用職員は定年前再任用短時間勤務職員となります。

3 施行期日等

- ・ 2①については、公布の日から施行し、令和4年12月1日から適用する。
- ・ 2②については、令和5年4月1日から施行する。

報告 1

令和4年度三重県優秀選手・指導者表彰について

令和4年度三重県優秀選手・指導者表彰について、別紙のとおり報告する。

令和4年12月15日提出

三重県教育委員会事務局
保健体育課長



令和4年度三重県優秀選手・指導者表彰について

1 表彰趣旨

県内の中学校・高等学校等の生徒・指導者及び学校が全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会、国民体育大会等において優秀な成績を収め、県内学校スポーツの範となりえたことについて、その栄誉を讃え、三重県教育委員会教育長が表彰する。

2 表彰事項

下記の全国大会において、三重県優秀選手・指導者表彰要領に基づき、個人1～3位・団体1～4位の成績を収めた生徒、指導者及び学校対抗1～3位の成績を収めた学校を表彰する。

- (1) 国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
- (2) 全国中学校体育大会
- (3) 全国高等学校総合体育大会
- (4) 全国高等学校野球選手権大会及び選抜高等学校野球大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制体育大会
- (6) 全国聾学校陸上競技大会・卓球大会
- (7) 全日本視覚障害者柔道大会・全国盲学校フロアバレーボール大会
- (8) 公益財団法人全国高等学校体育連盟が主催する全国選抜大会

次の基準を満たす生徒には、特別優秀選手賞を授与する。

- (1) 当該年度（令和4年3月～令和5年2月・以下同じ）に開催された上記の大会のうち、複数の大会で個人・団体（学校対抗を除く）で1位を収めた生徒。
- (2) 当該年度に開催された上記の大会のうち、同一大会で個人・団体（学校対抗を除く）で1位を収めた生徒。
- (3) 生徒が在学中（同一校種・複数年度）に開催された上記の大会のうち、複数の大会で個人・団体（学校対抗を除く）で1位を収めた生徒。

3 被表彰者及び表彰数

- (1) 特別優秀選手被表彰者一覧（P4）・選手 10名
- (2) 被表彰者一覧（P5～9）
- (3) 表彰数

【国民体育大会】

（団体の部）	6団体	・選手	20名	・指導者	6名
（個人の部）		・選手	10名	・指導者	8名

【全国障害者スポーツ大会】

（団体の部）	1団体	・選手	1名	・指導者	1名
（個人の部）		・選手	8名	・指導者	2名

【全国中学校体育大会】

（団体の部）	2校	・選手	31名	・指導者	2名
（個人の部）		・選手	9名	・指導者	3名

【全国高等学校総合体育大会】

(団体の部)	3校	・選手	22名	・指導者	3名
(個人の部)		・選手	16名	・指導者	11名

【全国高等学校選抜大会】

(団体の部)	3校	・選手	15名	・指導者	3名
(個人の部)		・選手	6名	・指導者	5名

○令和4年度総数

(団体の部)	15校/団体	・選手	89名	・指導者	15名
(個人の部)		・選手	49名	・指導者	29名
合計	15校/団体	・選手	138名	・指導者	44名 (のべ)

過去の表彰件数

○令和3年度総数

(団体の部)	10校	・選手	91名	・指導者	11名
(個人の部)		・選手	24名	・指導者	17名
合計	10校	・選手	115名	・指導者	28名 (のべ)

○令和2年度総数

新型コロナウイルス感染症の拡大により全国大会が開催されなかったことから、三重県高等学校体育大会で優勝した選手並びに学校を三重県知事特別表彰として表彰を行いました。

○令和元年度総数

(団体の部)	4団体、9校	・選手	78名	・指導者	11名
(個人の部)		・選手	34名	・指導者	25名
合計	4団体、9校	・選手	112名	・指導者	36名 (のべ)

○平成30年度総数

(団体の部)	4団体、7校	・選手	89名	・指導者	8名
(個人の部)		・選手	38名	・指導者	31名
合計	4団体、7校	・選手	127名	・指導者	39名 (のべ)

○平成29年度総数

(団体の部)	4団体、4校	・選手	49名	・指導者	8名
(個人の部)		・選手	31名	・指導者	25名
合計	4団体、4校	・選手	80名	・指導者	33名 (のべ)

4 表彰式について

(1) 日時 令和5年1月6日(金)
15:00~16:30

(2) 会場 三重県庁講堂(津市広明町13番地)

令和4年度三重県優秀選手・指導者表彰

被表彰者一覧

三重県教育委員会

令和4年度三重県特別優秀選手賞 被表彰者一覧

- 1 神谷龍之介 (かみや りゅうのすけ) 県立いなべ総合学園高等学校
レスリング競技

【成績】 第77回国民体育大会 レスリング競技 (令和5年10月)

優勝 少年男子 フリースタイル 80kg級

令和4年度全国高等学校総合体育大会 レスリング競技 (令和4年8月)

優勝 男子 80kg級

風間杯第65回全国高等学校選抜レスリング大会 (令和4年3月)

優勝 男子 80kg級

- 2 松田 魁利 (まつだ かいり) 県立亀山高等学校
ウエイトリフティング競技

【成績】 第77回国民体育大会 ウエイトリフティング競技 (令和5年3月)

優勝 少年男子 61kg級クリーン&ジャーク

優勝 少年男子 61kg級トータル

令和4年度全国高等学校総合体育大会 ウエイトリフティング競技 (令和4年8月)

優勝 男子 61kg級クリーン&ジャーク

優勝 男子 61kg級トータル

第37回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

優勝 男子 61kg級クリーン&ジャーク

優勝 男子 61kg級トータル

- 3 太田 妃優 (おおた ひゆ) 四日市メリノール学院中学校
4 前川 桃花 (まえがわ もか) 四日市メリノール学院中学校
5 澁谷 虹歩 (しぶや にじほ) 四日市メリノール学院中学校
6 北野 空 (きたの そら) 四日市メリノール学院中学校
7 濱田なのの (はまだなのの) 四日市メリノール学院中学校
8 鈴木瑚香南 (すずき ここな) 四日市メリノール学院中学校
9 西山 日葵 (にしやま ひなた) 四日市メリノール学院中学校
10 伊藤 千寛 (いとう ちひろ) 四日市メリノール学院中学校

バスケットボール競技

【成績】 第52回全国中学校バスケットボール大会 (令和4年8月)

優勝 女子

以上 個人10名

【団体の部】

競技名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
アーチェリー	優勝 少年男子 選手 - 柴田 貴司 横山 佳史 富中 康有 指導者 - 久野 圭夫	県立四日市四郷高等学校
	ソフトテニス 2位 少年女子 選手 - 松岡 琴美 鷺瀨 詩 黒田 玲那 岡 美志 林 美桜 指導者 - 村田 真紀乃	
クラスボウリング	2位 少年男子 ボルダリング、4位 リード 選手 - 杉本 裕翼 永林 肇翔 指導者 - 永林 馨彦	三重県 (近畿大学工業高等専門学校) (名張市立名張中学校)
	セーリング 3位 少年男子 420級 選手 - 竹田 大輝 松尾 晃汰 指導者 - 伊藤 秀郎	県立津工業高等学校
体操	4位 少年女子 選手 - 豊 有真 岡村 翼 鈴木 望未 大西 杏奈 籠田 裕奈 指導者 - 森村 和牙	三重県 (眺高等学校) (セントヨゼフ女子学園中学校) (伊勢市立倉田山中学校)
	銃剣道 4位 少年男子 選手 - 伊藤 洋一 今川 大樹 大川 優雅 指導者 - 相智 成人	皇學館高等学校

【個人の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
レスリング	優勝 少年男子 グレコローマンスタイル 65kg級 選手 - 笈納 剣勝 指導者 - 中田 陽	県立いなば総合学園高等学校
	優勝 少年男子 フリースタイル 80kg級 選手 - 榎谷 龍之介 指導者 - 中田 陽	
	3位 少年男子 フリースタイル 60kg級 選手 - 曾野 啓哉 指導者 - 中田 陽	
	セーグリ 優勝 少年男子 レーザーラジアル級 選手 - 阿部 優二郎 指導者 - 伊藤 秀郎	
リフウテイントグ	優勝 少年男子 61kg級クリーン&ジャーク、優勝 トータル、2位 スナッチ 選手 - 松田 魁利 指導者 - 石井 伸子	県立亀山高等学校
	2位 少年男子 67kg級クリーン&ジャーク、2位 トータル、3位 スナッチ 選手 - 田島 隼 指導者 - 森 浩之	県立四日市中央工業高等学校

馬術	2位 少年 二段階障害飛越	高田高等学校
	選手 - 吉永真由子 指導者 - 安藤 寛	
陸上競技	3位 少年男子共通 走高跳	県立津商業高等学校
	選手 - 齋藤 鎮秀 指導者 - 出口 義人	
水泳	3位 少年女子 飛板飛込	県立稲生高等学校
	選手 - 山口 歩夏 指導者 - 池田 庸祐	
アーチェリー	3位 少年男子 個人戦	県立四日市四郷高等学校
	選手 - 柴田 貴司 指導者 - 久野 圭太	

【団体の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
ボバ ール	2位 男子 聴覚障害の部	県立聾学校
	選手 - 堀口 瑛輝 指導者 - 北村 弘和	

【個人の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
陸上 競技	優勝 男子 砲丸投 障害区分24 年齢区分2部	県立盲学校
	選手 - 吉澤 雄裕 指導者 - 佐野 植祐	
陸上 競技	3位 男子 ジャバリックスロー 障害区分19 年齢区分1部	県立度会特別支援学校
	選手 - 藤川 直人 指導者 - 川喜田 宏	
水泳 競技	優勝 男子 50m平泳ぎ 障害区分01 年齢区分1部、2位 25m自由形	津田学園高等学校
	選手 - 箱澤 稜翔 指導者 -	
水泳 競技	優勝 男子 50m背泳ぎ 障害区分09 年齢区分1部、3位 50m自由形	津市立豊里中学校
	選手 - 和田 幸大 指導者 -	
卓球 競技	優勝 男子 一般卓球 障害区分19 年齢区分少年	県立朝明高等学校
	選手 - 新田 龍奏 指導者 -	
	優勝 男子 一般卓球 障害区分18 年齢区分少年	津市立橋北中学校
	選手 - 地白 晃祐 指導者 -	
	2位 男子 一般卓球 障害区分18 年齢区分少年	県立西日野にじ学園
	選手 - 須藤 友桑 指導者 -	
3位 男子 一般卓球 障害区分17 年齢区分1部	県立聾学校	
選手 - 宮崎 肇 指導者 -		

【団体の部】

競技名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
バスケットボール	第52回全国中学校バスケットボール大会 優勝 男子	四日市メリノール学院中学校
	選手 - 巽手 海斗 葉原 咲太郎 榎木 瑠旺 磯貝 勇太 伊藤 鉄心 山下 栄輝 足立 律太 林 奨士 佐藤 大斗 中村 颯斗 本田 露以 櫻井 照矢 木村 颯大 藤原 弘大 皆谷 桂藏 ジャック 鈴木 椋矢 指導者 - 山崎 修	
バスケットボール	第52回全国中学校バスケットボール大会 優勝 女子	四日市メリノール学院中学校
	選手 - 太田 妃優 齋藤 桃花 瀧谷 虹歩 北野 望 濱田 なのの 菅白 真央 川端 新菜 丸野 蓮菜 鈴木 瑚香南 中嶋 とわ 垣内 優希奈 西山 白葵 伊藤 千寛 坂本 慧心 中城 向白葵 指導者 - 箱埜 襲	

【個人の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
陸上競技	第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 優勝 女子 4×100mR	伊勢市立小俣中学校
	選手 - 西嶋 和奏 辰巳ひより 角田ルビイ 西嶋 真鈴 指導者 - 今村 和寛	
	第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 2位 男子 棒高跳	
	選手 - 上野 颯勢 指導者 - 小西 孝明	伊勢市立桜浜中学校
水泳競技	第62回全国中学校水泳競技大会 2位 男子 200mバタフライ	津市立西郊中学校
	選手 - 松永 暖琉 指導者 -	
	第62回全国中学校水泳競技大会 2位 男子 高飛込、3位 男子 3m飛板飛込	四日市市立中部中学校
	選手 - 春日 瑛士 指導者 - 春日 喜美子	
第62回全国中学校水泳競技大会 3位 女子 高飛込	鈴鹿市立神戸中学校	
選手 - 伊坂 奏音 指導者 -		
柔道	第53回全国中学校柔道大会 3位 男子 60kg級	松阪市立鎌田中学校
	選手 - 田中 蒼人 指導者 -	

【団体の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
ソフトテニス	2位 女子 団体 選手 - 松岡 琴美 廣瀬 鈴 黒田 玲那 澤井 萌々子 鳥瀨 詩 竹田 菜由 大橋 玲雨 岡 美志 指導者 - 村田真紀乃	三重高等学校
	3位 男子 団体 選手 - 伊藤 久遠 高田 勇 曾野 啓哉 芳納 勲勝 辻本 航基 神谷龍之介 中西 真大 徳力海優斗 小塚 彪 伊藤 獅武 指導者 - 中田 陽	県立いなば総合学園 高等学校
体操	4位 女子 団体 選手 - 壘 有夏 岡村 真 鈴木 望未 岡田 紗耶 指導者 - 荻村 稲芽	暁高等学校

【個人の部】

競技名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
レスリング	優勝 男子 80kg級 選手 - 神谷龍之介 指導者 - 中田 陽	県立いなば総合学園 高等学校
	3位 女子 50kg級 選手 - 弓矢 紗希 指導者 - 中田 陽	
	3位 女子 53kg級 選手 - 柴田あおい 指導者 - 中田 陽	
リフティング	優勝 男子 61kg級 クリーン&ジャーク、優勝 トータル、2位 スナッチ 選手 - 松田 魁利 指導者 - 右井 伸子	県立亀山高等学校
	3位 男子 67kg級スナッチ、3位 クリーン&ジャーク、3位 トータル 選手 - 田島 隼 指導者 - 森 浩之	県立四日市中央工業 高等学校
テニフット	優勝 女子 個人 選手 - 鳥瀨 詩 竹田 菜由 指導者 - 村田真紀乃	三重高等学校
自転車	2位 男子 スクラッチ 選手 - 松岡 隼人 指導者 - 吉々 敦史	県立朝明高等学校
	3位 女子 500mタイムトライアル 選手 - 伊藤 優里 指導者 - 吉々 敦史	県立朝明高等学校
	3位 男子 1kmタイムトライアル 選手 - 谷澤 優貴 指導者 - 生川 龍起	県立久居農林 高等学校
陸上競技	2位 男子 八種競技 選手 - 谷澤 光 指導者 - 小池 弘文	県立宇治山田商業 高等学校

柔道	2位 男子100kg級	県立名張高等学校
	選手 - 吉田 燦太 指導者 - 稲澤 真人	
剣道	2位 女子 個人	鈴鹿高等学校
	選手 - 加藤 里佳 指導者 - 安達 正史	
体操	2位 女子 ゆか、3位 女子 段違い平行棒、3位 女子 個人総合	暁高等学校
	選手 - 簡村 翼 指導者 - 林村 和才	
ボート	3位 男子 ダブルスカル	県立相可高等学校
	選手 - 川竹 葉来 宮本 大地 指導者 - 永野 景子	

【団体の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
レスリング	風間杯第65回全国高等学校選抜レスリング大会 2位 学校対抗戦	県立いなべ総合学園 高等学校
	選手 - 伊藤 久遠 高田 勇 曾野 崑巖 芳納 勲勝 辻本 航基 神谷龍之介 尾浦 悠斗 徳力海優斗 指導者 - 中田 陽 小塚 彪	
自転車競技	第45回全国高等学校選抜自転車競技大会 2位 女子 学校対抗戦	県立朝明高等学校
	選手 - 伊藤 優里 平子 結菜 指導者 - 百々 敦史	
フェンシング	第46回全国高等学校選抜フェンシング大会 2位 女子 フルーレ	県立鳥羽高等学校
	選手 - 那須 杏里 新田穂乃香 南 斐 指導者 - 松本 優	

【個人の部】

競技名・大会名・順位・部門・選手名・指導者名		学校名
レスリング	風間杯第65回全国高等学校選抜レスリング大会 優勝 男子 80kg級	県立いなべ総合学園 高等学校
	選手 - 神谷 龍之介 指導者 - 中田 陽	
自転車	第45回全国高等学校選抜自転車競技大会 優勝 女子 500mタイムトライアル、2位 女子 ケイリン	県立朝明高等学校
	選手 - 伊藤 優里 指導者 - 百々 敦史	
ウェイトリフティング	第37回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会 優勝 男子 61kg級クリーン&ジャーク、優勝 トータル、2位 スナッチ	県立龜山高等学校
	選手 - 松田 魁利 指導者 - 石井 伸子	
柔道	第37回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会 3位 女子45kg級 クリーン&ジャーク、3位 トータル	県立四日市南高等学校
	選手 - 野間 若菜 指導者 -	
柔道	第44回全国高等学校柔道選手権大会 3位 男子 81kg級	県立名張高等学校
	選手 - 山村 晃斗 指導者 - 稲澤 真人	
体操	第38回全国高等学校体操競技選抜大会 3位 男子 あん馬	暁高等学校
	選手 - 西村 高純 指導者 - 石原 大	

